

事業シート(令和4年度決算)

28.ブランド戦略課1

事業名	21550 飛騨高山ブランド戦略推進事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	1	多様な働き方と優れた産品、サービスで財を稼ぐ	市長公約
			款	2	総務費		まちづくり戦略	(3)	品質・価値の向上と情報発信	
			項	1	総務管理費	根拠計画	飛騨高山ブランド戦略、過疎地域持続的発展計画			
			目	15	ブランド戦略推進費					
担当課	飛騨高山プロモーション戦略部	ブランド戦略課	内線	2278						

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<p>・飛騨高山ブランドコンセプト「飛騨高山の風土と飛騨人の暮らしが生み出す本物 それが『飛騨高山ブランド』」に基づき、市内の事業者や団体等の飛騨高山ならではの商品やサービスのブランド化の取り組みを支援するとともに、飛騨高山の有する様々な魅力や価値を市民や事業者とともに再評価し、磨き上げることで、飛騨高山に対する誇りの醸成や地域経済と地場産業の活性化を図る。</p>	概要	<p>・飛騨高山ブランドコンセプトに基づいたインナーブランディングの推進 ・外部有識者を活用し、ブランド戦略およびメイド・バイ飛騨高山認証制度の運用 ・地域団体商標制度を活用したブランド展開事業または地域ブランド確立に向けた新商品開発・販路開拓事業等に対して補助金を交付</p>
----	--	----	---

総合計画等	主な指標	R3実績	R4実績	R6目標

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

	R3	R4	R5			
			最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算
歳出事業費 (職員人件費を除く)	15,030	7,406	18,250	18,250	12,766	5,360
特定財源						
国費()						
県費(中小企業販路開拓等支援事業費補助金 1/2 等)	2,000	0				
その他()						
一般財源	13,030	7,406	18,250	18,250	12,766	5,360
個票枝番	主な事業内容					
	1,980	655	2,040	2,040	1,080	425
	550	188	210	210	62	△ 126
	5,200	3,539	3,200	3,200	1,538	△ 2,001
	7,300	3,024	12,800	12,800	10,086	7,062

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和5年度予算編成(Action)

(千円)

R5予算		実施計画額		24,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
21,440	20,910	20,910	2,660	
21,440	20,910	20,910	2,660	
査定額	説明			
790				
190	デジタルアーカイブ事業(映像等記録作成)、メイド・バイ飛騨高山認証制度ほか			
3,430				
16,500				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和3年度事業実績・評価等(Check) R4.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・飛騨高山ブランド戦略会議の開催 1回 ・高山市経済観光アドバイザーの活用 全体会議1回 個別会議5回 ・メイド・バイ飛騨高山認証産品事業者による販路開拓や高山産品のフードバリアフリー化(コresha認証取得)などに対して支援(4件 2,558千円) ・地場産業の販路開拓に対する支援(1件 466千円) ・飛騨高山ブランドフォーラム、セミナー、研修会の開催(4回 330人参加) ・メイド・バイ飛騨高山認証制度を運用し、2産品を認証 ・飛騨高山ものづくりオンライン展示会の実施 ・デジタルアーカイブ事業(映像等記録作成)の実施
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・メイド・バイ飛騨高山認証産品の作り手による講演会を開催し、市民へのインナーブランディングを図った。 ・ものづくりに関する若手人材の育成のため、オンラインによる展示会を開催した。 ・市内に現存する有形無形の貴重な資源を、写真・映像・聞き書きにより記録するデジタルアーカイブ事業を実施
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・飛騨高山ブランド戦略に基づき、市民・事業者・行政が共通認識を持って飛騨高山ブランドを確立するため、インナーブランディングを推進するとともに、さまざまな機会やSNSを活用して匠の国としての魅力・価値の発信を行う。
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定

5.令和4年度事業実績・評価等(Check) R5.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・飛騨高山ブランド戦略会議の開催 1回 ・高山市経済観光アドバイザーの活用 全体会議1回 個別会議5回 ・メイド・バイ飛騨高山認証産品事業者による販売促進や高山産品のフードバリアフリー化(コresha認証取得)などに対して支援(6件 4,005千円) ・地場産業の販路開拓に対する支援(2件 6,081千円) ・飛騨高山ブランドフォーラム、セミナー、研修会の開催(3回 215人参加) ・メイド・バイ飛騨高山認証制度を運用し、3産品を認証 ・デジタルアーカイブ事業(映像等記録作成)の実施
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・メイド・バイ飛騨高山認証産品の作り手による講演会を開催し、市民へのインナーブランディングを図った。 ・市内に現存する有形無形の貴重な資源を、写真・映像・聞き書きにより記録するデジタルアーカイブ事業を実施
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・飛騨高山ブランド戦略に基づき、市民・事業者・行政が共通認識を持って飛騨高山ブランドを確立するため、インナーブランディングを推進するとともに、さまざまな機会やSNSを活用して匠の国としての魅力・価値の発信を行う。
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R4完了 <input type="checkbox"/> R5完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・インナーブランディング事業の促進及び魅力・価値の発信に必要な経費を計上
---------------------	--------------------------------------

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
-------------------	----------

市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに
--------------	-------------

28.ブランド戦略課1

21550

事業シート(令和4年度決算)

事業名	21555 飛騨高山応援事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	1	多様な働き方と優れた産品、サービスで財を稼ぐ	市長公約
			款	2	総務費		まちづくり戦略	(3)	品質・価値の向上と情報発信	
			項	1	総務管理費		根拠計画		過疎地域持続的発展計画	
			目	15	ブランド戦略推進費					
担当課	飛騨高山プロモーション戦略部	ブランド戦略課	内線	2278						

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・観光客や移住者の増加及び地場産品の消費拡大等を図る。	概要	・インスタグラム及びFacebookを活用し、観光や産品などの各種情報を発信する。 ・ファンクラブ会員に対し、市内見学会や交流会を実施する。 ・外部人材(会員)の活用により、飛騨高山ブランドの発信等行政課題解決への参画を促進する。
----	-----------------------------	----	---

総合計画等 主な指標	R3実績	R4実績	R6目標

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R3		R4			(千円)
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		4,711	3,452	2,700	2,700	1,306	△ 2,146
特定財源	国費()						
	県費()						
	その他()						
一般財源		4,711	3,452	2,700	2,700	1,306	△ 2,146
個票枝番	主な事業内容						
	飛騨高山「めでたの会」のPR	1,231	1,161	1,770	1,770	1,207	46
	会員市内見学会、意見交換会	340	0	450	450	92	92
	飛騨高山「めでたの会」会員交流会	640	2	380	380	0	△ 2
	飛騨高山アンバサダーの設置	300	0	100	100	7	7
	移住及び交流人口等に関するアンケートの実施	2,200	2,289				△ 2,289

4.令和5年度予算編成(Action)

R5予算		実施計画額		3,100
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
2,382	2,080	2,080	△ 620	
2,382	2,080	2,080	△ 620	
査定額	説明			
1,620				
360				
0				
100				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和3年度事業実績、評価等(Check) R4.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・フェイスブックを利用し各種情報を配信 ・コロナ禍により、市内見学会や都市部での交流会など対面での開催ができない代替として、オンラインによる交流会を実施 ・特別会員101人、サポート会員232人、一般会員37,762人 ・飛騨高山アンバサダー3名による飛騨高山の魅力・価値の発信 ・移住及び交流人口等に関するアンケートの実施 2,850件
評価等	・コロナ禍により移動制限がある中、オンラインによる交流会を実施するとともに、SNSや会報誌を活用して高山の情報を配信し、高山を応援していただく関係を維持した。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定 ・会員との更なる関係深化を図るため、対面やオンラインでの交流事業を実施していく。 ・飛騨高山アンバサダーを活用し、飛騨高山の魅力や価値の発信力を高める。

5.令和4年度事業実績、評価等(Check) R5.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・フェイスブックを利用し各種情報を配信 ・市内見学会やオンラインによる交流会を実施 ・会員338人(旧特別会員、旧サポート会員)、フォロワー(旧一般会員)37,574人 ・飛騨高山アンバサダー3名による飛騨高山の魅力・価値の発信
評価等	・市内見学会やオンラインによる交流会を実施するとともに、SNSや会報誌を活用して高山の情報を配信し、高山を応援していただく関係を維持した。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R4完了 <input type="checkbox"/> R5完了予定 ・ファンクラブ(飛騨高山「めでたの会」)については、応援して下さる方が地域・団体の行事や取り組みに、直接、関わっていただけるような仕組みの構築を検討していく。 ・飛騨高山アンバサダーを活用し、飛騨高山の魅力や価値の発信力を高める。

担当課 予算要求 ポイント	・ファンクラブ会員との交流、SNSを用いた飛騨高山の魅力等の発信による若年層の関係人口獲得に必要な経費を計上
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
-------------------	----------

市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに
--------------	-------------

事業シート(令和4年度決算)

事業名	21570 移住交流促進事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	1	多様な働き方と優れた産品、サービスで財を稼ぐ	市長公約	心地よく～暮らす人も訪れる人も心地よいまち～ 住む人と来る人との調和を推進します
			款	2	総務費		まちづくり戦略	(2)	地域産業の担い手確保と生産性の向上		
			項	1	総務管理費	根拠計画	移住戦略、過疎地域持続的発展計画				
			目	15	ブランド戦略推進費						
担当課	飛騨高山プロモーション戦略部	ブランド戦略課	内線	2278							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・都市住民の移住を促進し、都市住民と地域住民との交流の場を増加させ、移住者の知識、経験等を活かした新たな地域づくりによって地域力の向上を図る。	概要	・移住相談窓口の設置 ・助成事業(住宅支援) ・効果的なPR活動を展開 ・ふるさと暮らし体験施設「秋神の家」の運営 ・移住コーディネーターの設置および移住者ネットワーク組織の運営(R4～)
----	---	----	--

総合計画等 主な指標	R3実績	R4実績	R6目標
新規移住者数(年間)	307人	282人	-

2.事業の実施結果等(Do)

		R3		R4			(千円)
歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		23,035	22,086	13,683	30,683	17,871	△ 4,215
特定財源	国費()						
	県費(ふるさと暮らし移住促進事業費 1/3 等)	1,527	5,682	2,750	2,750	4,415	△ 1,267
	その他(財産収入等)	1,514	1,372	514	514	836	△ 536
一般財源		19,994	15,032	10,419	27,419	12,620	△ 2,412
個票枝番	主な事業内容						
	ふるさと体験住宅の活用	1,208	660	1,120	1,120	751	91
	移住者の家賃、空き家の取得・改修に対する支援	19,000	19,197	9,000	23,000	13,771	△ 5,426
	東京23区からの移住に対する支援(移住者の就業に対する支援)	1,000	600	1,000	2,000	1,200	600
	飛騨地域3市1村連携による移住・定住促進	1,600	1,170	1,400	1,400	1,218	48
◎ 1	移住コーディネーターの設置、移住者ネットワークの運営			840	840	360	360
◎ 2	関係人口創出・短期人材受入支援				2,000	210	210
	移住ノートの作成						

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和5年度予算編成(Action)

		R5予算		実施計画額		20,900
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)			
29,090	30,090	30,090	16,407			
6,000	8,250	8,250	5,500			
514	514	514	0			
22,576	21,326	21,326	10,907			
査定額	説明					
1,080						
18,000						
5,000						
1,300						
700						
3,000						
※						

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和3年度事業実績・評価等(Check) R4.8実施

事業実績	・飛騨高山ふるさと暮らし・移住促進事業補助金の交付(家賃補助29件、取得・改修14件) ・東京圏からの移住に対する助成 1件 ・ふるさと体験施設「秋神の家」の利用(6世帯11人)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定
評価等	・移住実績は307人となった。うち、県外からの移住者は245人となり、県内市町村では4年連続で最多となった。	
次年度以降の考え方(担当課)	・飛騨高山移住定住サポートセンター、移住コーディネーター制度、移住者ネットワーク組織の運営により、高山に移住したい方、移住した方に寄り添った支援を行っている。 ・市外での催し等さまざまな機会を捉えて、当市の自然環境や子育て環境をはじめとする市独自の魅力を伝え、全国から人を呼び込む。	

5.令和4年度事業実績・評価等(Check) R5.8実施

事業実績	・飛騨高山ふるさと暮らし・移住促進事業補助金の交付(家賃補助28件、取得・改修10件) ・東京圏からの移住に対する助成 2件 ・ふるさと体験施設「秋神の家」の利用(3世帯5人) ・移住コーディネーターへの相談件数 42件 ・移住者ネットワーク会員数 73人 ・短期人材と事業者のマッチング手数料に対する助成 3件	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R4完了 <input type="checkbox"/> R5完了予定
評価等	・移住実績は282人となった。うち、県外からの移住者は205人となり、県内市町村では2番目となった。	
次年度以降の考え方(担当課)	・飛騨高山移住定住サポートセンター、移住コーディネーター制度、移住者ネットワーク組織の運営により、高山に移住したい方、移住した方に寄り添った支援を行っている。 ・市外での催し等さまざまな機会を捉えて、当市の自然環境や子育て環境をはじめとする市独自の魅力を伝え、全国から人を呼び込む。	

担当課 予算要求 ポイント	・移住者の家賃、空き家の取得・改修に対する支援や、移住コーディネーターによる移住相談対応など、移住定住の促進に必要な経費を計上 ・関係人口創出・短期人材受入支援に必要な経費を計上 ・移住ノートの作成に必要な経費を計上
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
-------------------	----------

市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり
--------------	------------

主要事業個票(令和4年度決算)

事業名	21570 移住交流促進事業費	区分	<input checked="" type="checkbox"/> R4新規	<input type="checkbox"/> R5新規	会計	1	一般会計	担当課	飛騨高山プロモーション戦略部ブランド戦略課
枝番・内容	1 移住コーディネーターの設置、移住者ネットワークの運営		<input type="checkbox"/> R4拡充	<input type="checkbox"/> R5拡充		款	2		
			<input type="checkbox"/> その他重要事業		項	1	総務管理費	内線	2278
			<input type="checkbox"/>		目	15	ブランド戦略推進費	作成年月	R5.8

事業の目的・概要(Plan)

目的	令和3年4月に策定した高山市移住戦略に基づき、高山市に移住する人が、安心して移住を決定し、移住後も地域に溶け込みながら楽しく安定した生活ができるよう、地域の文化や生活習慣、高山市の魅力を伝える移住コーディネーターの設置等を通して、移住前後の生活の不安や悩みに寄り添い、多様な移住スタイルを支援するための細やかなフォロー体制を整える	概要	・移住コーディネーターの設置および移住者ネットワーク組織の運営 ・移住者交流事業(イベント等)の実施
----	---	----	---

[参考] R3決算(Do・Check) R4.8時点 (千円)

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

[参考] R4当初予算(Action) R4.3時点 (千円)

予算額	当初	840
主な経費	・報償費	
	・需用費	
	・使用料及び賃借料	
対前年度増減額(当初予算)		840

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

R4決算(Do・Check) R5.8時点 (千円)

予算額	当初	840
	繰越	
	補正等	
	最終	840
決算額		360
対前年度増減額(決算)		360

R5当初予算(Action) (千円)

予算額	当初	700
主な経費	・報償費	
	・需用費	
	・使用料及び賃借料	
対前年度増減額(当初予算)		△ 140

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績、評価等	
[事業実績]	
[評価等]	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	<ul style="list-style-type: none"> ・移住コーディネーターを設置し、移住前後の相談対応、現地案内を実施(相談内容に応じて市が移住者と移住コーディネーターをマッチングし、実施内容に応じ謝礼を支払い) ・先輩移住者で構成する移住者ネットワーク組織を設置 ・移住者の企画による移住者交流事業(イベント等)の実施
[スケジュール]	・R4.4 制度運用開始

事業実績、評価等	
[事業実績]	<ul style="list-style-type: none"> ・移住コーディネーターへの相談件数 42件 ・移住者ネットワーク会員数 73人 ・移住者ネットワークイベント(市企画) 4回、64人 ・移住者ネットワークイベント(移住者企画) 2回 12人
[評価等]	<ul style="list-style-type: none"> ・移住検討者の不安を解消することができた。移住者同士の交流イベントを開催し、交流を促進することができた。 ・移住実績は282人となった。うち、県外からの移住者は205人となり、県内市町村では2番目となった。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・飛騨高山移住定住サポートセンター、移住コーディネーター制度、移住者ネットワーク組織の運営により、高山に移住したい方、移住した方に寄り添った支援を行っていく。 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R4完了 <input type="checkbox"/> R5完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	<ul style="list-style-type: none"> ・移住コーディネーターによる移住前後の相談対応、現地案内を実施(相談内容に応じて市が移住者と移住コーディネーターをマッチングし、実施内容に応じ謝礼を支払い) ・先輩移住者で構成する移住者ネットワーク組織を運営 ・移住者交流事業(イベント等)の実施
[スケジュール]	

主要事業個票(令和4年度決算)

事業名	21570 移住交流促進事業費	区分	<input checked="" type="checkbox"/> R4新規	<input type="checkbox"/> R5新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	飛騨高山プロモーション戦略部ブランド戦略課
枝番・内容	2 関係人口創出・短期人材受入支援		<input type="checkbox"/> R4拡充	<input type="checkbox"/> R5拡充		款	2	総務費		
			<input type="checkbox"/> その他重要事業		項	1	総務管理費	内線	2278	
			<input type="checkbox"/>		目	15	ブランド戦略推進費	作成年月	R5.8	

事業の目的・概要(Plan)

目的	市内事業者の短期人材の確保を支援するとともに、より深い関係人口の創出を図る	概要	関係人口創出のため、市内事業者が、短期人材募集サイト等に求人情報を掲載し、短期人材とマッチングした際にサイト運営会社等へ支払うマッチング手数料に対して支援する
----	---------------------------------------	----	---

[参考] R3決算(Do-Check) R4.8時点 (千円)

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

[参考] R4当初予算(Action) R4.3時点 (千円)

予算額	当初	0
主な経費		
対前年度増減額(当初予算)		0

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

R4決算(Do-Check) R5.8時点 (千円)

予算額	当初	0
	繰越	
	補正等	2,000
	最終	2,000
決算額		210
対前年度増減額(決算)		210

R5当初予算(Action) (千円)

予算額	当初	3,000
主な経費	・補助金	
対前年度増減額(当初予算)		3,000

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績、評価等	
[事業実績]	
[評価等]	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	
[スケジュール]	

事業実績、評価等	
[事業実績]	・短期人材と事業者のマッチング手数料に対する助成 3件
[評価等]	・短期人材と事業者のマッチングを促進することにより、人手不足の解消と関係人口の創出を図ることができた。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R4完了 <input type="checkbox"/> R5完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	<p>市内事業者が、短期人材募集サイト等に求人情報を掲載し、短期人材とマッチングした際にサイト運営会社等へ支払うマッチング手数料、宿泊料に対して補助し、飛騨地域外の方が、高山市内で短期就業し、収入を得ながら滞在することを促進する。これにより、事業者の人手不足の解消と、より深い関係人口の創出を図る。</p> <p>補助要件:民間プラットフォームを活用し、飛騨地域外の短期人材の雇用を行うこと</p> <p>対象:市内の事業者(市内に事業所等を有する者)</p> <p>助成内容:対象経費(マッチング手数料、宿泊料8,000円上限/泊)の1/2を補助</p> <p>※令和5年度に限った補助とする</p>
[スケジュール]	4月～ 実施

事業シート(令和4年度決算)

事業名	21580 ふるさと寄附推進事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	着実な計画の推進	市長公約
			款	2	総務費		まちづくり戦略		
			項	1	総務管理費	根拠計画			
			目	15	ブランド戦略推進費				
担当課	飛騨高山プロモーション戦略部 ブランド戦略課	内線	2278						

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> ・高山市を応援してくださる方の想い、願いを受け止め、市を特徴付ける主要な事業を推進する。 ・財源確保を図るとともに、贈呈品の発注による地場産品、サービスの販売促進による地域内産業の活性化を図る。 ・企業とのパートナーシップによる地方創生の推進を図る。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと寄附の申出受付、寄附金の採納 ・ふるさと寄附のPR ・寄附者への贈呈品送付 ・企業版ふるさと納税の推進 ほか
----	---	----	--

総合計画等 主な指標	R3実績	R4実績	R6目標

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	R3			R4			
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)	
	1,084,534	1,012,938	958,400	1,975,300	1,809,554	796,616	
特定財源							
国費()							
県費()							
その他(寄付金)			958,400	1,975,300	1,809,554	1,809,554	
一般財源	1,084,534	1,012,938	0	0	0	△ 1,012,938	
個票枝番	主な事業内容						
	ふるさと寄附贈呈品	742,800	673,032	652,000	1,353,000	1,209,637	536,605
	ポータルサイトの運営	227,465	225,453	193,300	394,590	383,127	157,674
	ふるさと納税推進業務委託	113,000	113,188	90,200	194,150	185,820	72,632
	寄附者への受領証発送等	1,269	1,265	22,900	33,560	30,970	29,705

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和5年度予算編成(Action)

(千円)

R5予算		実施計画額	1,486,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)
1,487,130	1,486,920	1,486,920	528,520
1,487,130	1,486,920	1,486,920	528,520
0	0	0	
査定額	説明		
1,011,000			
329,590			
125,400			
20,930			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和3年度事業実績・評価等(Check) R4.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと寄附金の採納 86,319件 2,266,110,300円 ・ふるさと寄附贈呈品送付件数 82,824件 ・ふるさと寄附贈呈品数の拡大 1,485品 ・企業版ふるさと納税制度の活用 協力企業6社 寄附金額16,700千円 ・民間事業者の有するノウハウやスキルを活用し、ふるさと寄附贈呈品の充実やPRを図った。
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・寄附者に訴求する応援メニューとともに、民間事業者の有するノウハウやスキルを活用してふるさと寄附贈呈品の充実や効果的なPRを行った結果、多くの方に応援いただくことができ、寄附額・寄附件数とも過去最高となった。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・民間のノウハウを活用したeコマース戦略の展開、事業者や返礼品の登録を行い、寄附の獲得ならびに寄附者との関係深化を図る。 ・ふるさと納税返礼品をきっかけとした地場産品やシティプロモーションの展開を図る。 ・企業版ふるさと納税を活用し、官民のパートナーシップによるまちづくりを進める。

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- R3完了
- R4完了予定

5.令和4年度事業実績・評価等(Check) R5.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと寄附金の採納 166,387件 3,938,901,400円 ・ふるさと寄附贈呈品送付件数 182,460件 ・ふるさと寄附贈呈品数の拡大 1,839品 ・企業版ふるさと納税制度の活用 協力企業9社 寄附金額60,501千円 ・民間事業者の有するノウハウやスキルを活用し、ふるさと寄附贈呈品の充実やPRを図った。
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・寄附者に訴求する応援メニューとともに、民間事業者の有するノウハウやスキルを活用してふるさと寄附贈呈品の充実や効果的なPRを行った結果、多くの方に応援いただくことができ、寄附額・寄附件数とも過去最高となった。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・民間のノウハウを活用したeコマース戦略の展開、事業者や返礼品の登録を行い、寄附の獲得ならびに寄附者との関係深化を図る。 ・ふるさと納税返礼品をきっかけとした地場産品やシティプロモーションの展開を図る。 ・企業版ふるさと納税を活用し、官民のパートナーシップによるまちづくりを進める。

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- R4完了
- R5完了予定

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・寄附額のさらなる増加を目指し、民間のノウハウを活用した運営業務の実施に必要な経費を計上 ・ワンストップ特例制度に係る業務の円滑な実施に必要な経費を計上
---------------------	---

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに